

めざす姿	具体的な進め方	年度				2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
		幹事団体				連合こども会 中の町自治会				桜井市民の会 城北自治会				桜井市民の会 城北自治会							
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q				
尊徳先生の教えを地域全域に発信したい。	1 桜井地域の行事を知る 1) 新組織での役員選考 ・参加各団体の自己紹介と部長副部長の選出 2) 参加団体の行事の概要と課題の収集 ・各団体が現在実施している行事の概要と目的そして課題は何か ・課題解決の為に必要なことは何か（横の連携・世代間の交流） 3) 各団体で実施している行事と尊徳先生の教えとの関連について ・関連して実施している団体もあれば、そうでない団体もある ・まちづくり委員会内の全ての団体で行っている行事と、行事を通して望む姿を集約する 4) 各小中学校では尊徳学習が行われているので、その内容を知りたい ・昨年度調査済み、具体的な内容は各校の「学校便り」及びホームページで確認する。 桜井小学校 報徳小学校 城北中学校 5) 各団体に3)の内容についてアンケートを依頼し、回収する。 ・回収したアンケートを基に「月暦」の原案を作成検討する。 6) 「尊徳道歌」の地域普及への取り組み（尊徳先生の教えの発信）																				
	2 学校と地域が連携している教育活動や地域の活動を知る 1) 学校訪問及び学校便りやホームページを通じて確認する。 2) 各学校PTA 青少年育成会 桜井市民の会 桜井学区子ども会 子どもを守る会 報徳学区子ども会 桜井ひろば土曜クラブ 等から情報収集																				
	3 「さくらいふれあいの月暦」の編集と発行について 1) 今までのアンケートを基に各団体主催行事の取りまとめ。 ・地域が学校をどう活かしているか。 2) 学校教育におけるカリキュラムと地域連携について調査。 ・学校が地域の人的資産をどう活かしているか 3) 「昔の東栢山部落の民族的行事」の活用(資料：高井喜雄さん、尊徳記念館図書室) 4) 「月暦」の発行に向けた準備 ・印刷業者の選定																				

学校と地域のつながりを強化したい。

- ・発効内容の検討
 - ・発行費用の準備
 - ・発行部数及び配布先 等
- 5) 「さくらいふれあいの月暦」の発行と配布
 - 6) 「さくらいふれあいの月暦」の増刷 300部
 - 7) 2～3年後の月暦発行の準備

4 「さくらいふれあいの月暦」の活用方法について

- 1) 行事カレンダーへの行事紹介
- 2) 各自治会新会員・新役員への資料提供

5 まちづくり委員会各団体の横の連携をどうするか

6 各団体の持つ課題をどう解決していくか

